

2022 年 8 月 5 日

各位

アートスパークホールディングス株式会社
 代表取締役社長 成島 啓
 (コード番号: 3663 スタンダード)
 問合せ先: 取締役 伊藤 賢
 電話番号: 03-6820-9590

2022 年 12 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022 年 2 月 10 日に公表いたしました第 2 四半期業績予想と実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022 年 12 月期 第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異 (2022 年 1 月 1 日～2022 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,619	739	716	323	※ 8.90
実績 (B)	3,753	964	1,025	688	19.76
増減額 (B - A)	134	225	309	365	
増減率	3.7%	30.4%	43.2%	113.0%	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (2021 年 12 月期第 2 四半期)	3,505	781	804	863	26.46

※2022 年 6 月 30 日における発行済株式総数で算出しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、子会社の株式会社セルシスが、継続して実施しておりますイラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の機能向上を目的とした開発投資を行いながら、海外利用ユーザー及びサブスクリプション契約の増加を目的とした、全世界に向けたプロモーション活動等により堅調に推移し、売上高は 3,753 百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は 964 百万円、経常利益は為替差益等を計上したことにより 1,025 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第 1 四半期連結累計期間において事務所移転に伴う固定資産除却損及び賃貸借契約解約損を 60,215 千円計上したこと、税金等調整により 688 百万円となりました。

上記のとおり、第 2 四半期連結累計期間の業績は、利益面において当初予想を上回ることとなりましたが、UI/UX 事業における主要な顧客である自動車関連分野は、前期に引き続き、新車開発の遅れ

によるモデルチェンジサイクルの長期化や、半導体不足等による生産台数の減少等を受け、厳しい事業環境が続いており、将来予測が不透明なことを踏まえ、通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上